

Q. 農協ストアの閉鎖に伴う対策は

Q. ゴミ焼却炉の設置を

質問 世界的な視点で見ると、食料不足が懸念されている。本町では減反を止め全面積を耕作できるように取り組む心積もりはないのか。

町長 世界規模での食料不足は指摘のとおりであり、日本の米減反施策は不合理に思えるが、本町の農政は「持続可能な農業経営を維持できる米の価格」を目指し、生産調整によって米の需給バランスを図り、米価の下落を防ごうとするものである。さらに、「安全・安心」で「売れる米づくり」を推進するとともに、水田農家の将来を考えると転作物物を水田と並ぶ主力作物とする必要がある、地域水田農業推進協議会が示したこれらのビジョンを堅持、継続していく。したがって、米の作付けをしない水田には、麦や大豆などの土地利用型作物や野菜・施設作物などの高収益作物の作付けを奨励していく。地球の温暖化が北上しており、北海道が日本の米づくり主産地となるなら休耕地が一掃される可能性が大いにある。

限界集落への対策は

質問 集落の自立機能が低下し、65歳以上の人口が50%以上を占める、いわゆる「限界集落」への対策は。

町長 幌加地区は現在、人口16人うち65歳以上は13人(81%)である。耕作放棄地が出たり地域の自立機能が低下した場合に対応が必要であると思うが、当地区では住民相互が助け合い、支え合いつつ頑張っている現状を高く評価したい。今後は同地区住民が必要とする支援内容等を聞きつつ対策を講じる。

農協ストアの閉鎖に伴う対策は

質問 吉野、花月地区の農協ストアが閉鎖される計画となっているが、高齢者などは買い物が不便となるのでは。

町長 花月ストアは今年末

に、吉野ストアは徳富ダム工事終了時での閉鎖が予定されている。閉鎖後は不便を生じることになるが、両地区には個人商店もあり、既に廃止となった大和地区のように宅配サービス等を活用願いたい。また、交通弱者対策として、公共交通活性化協議会において全町視野での対策を検討中である。



ゴミ焼却炉の設置について

質問 ゴミ焼却炉の設置を。

町長 単独でのゴミ焼却炉建設は多額の建設費が必要であり、設置場所の選定にも住民理解が必要となることから困難である。現在、中空知衛生施設組合に参加し、エコバレー歌志内においてゴミ処理を実施している。

後期高齢者医療制度について

質問 後期高齢者医療制度については廃止すべきと考えられているが。

町長 後期高齢者医療制度は国が示した制度内容であり、現在この内容に問題があることから、国においても内容の見直しが進められており、その推移を待って適切に対処したい。